

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス リアン府中白糸台		公表日		令和7年12月25日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点・取り組み状況など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	ガイドラインに示された目安より広いスペースを確保している。自由遊びの時間に、死角となる箇所が生じないように、複数の職員で見守るようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	5	職員の性別、専門領域、経験年数等を考慮し構成している。外出時は、安全確保の観点から職員を増員して対応している。 【意見等】・支援員を募集しているが新しく入って来ない。・人が足りない日がある。・緊急時に備え基準よりプラス1名配置できると良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	水道設備の都合上一部に段差が生じているため、必要に応じて手を添えるなど歩行のサポートを行っている。荷物置き場や係の表示には、写真付きの名前カードを用い、お子様が視覚的に確認しやすいよう工夫している。 【意見等】・フロアには絵本のみを置き、安全管理のため、玩具類は通常は倉庫に保管している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	日々の清掃・消毒を徹底している。1フロアを、活動空間とゆっくりと寛げる空間に分けている。宿題や制作に集中して取り組みたいお子様には、静養室や相談室を活用してもらっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	体調や気分によっては、集団での活動に負担を感じるお子様もいる。一時的に静養室で過ごしてもらう場合がある。 【意見等】・休息のための環境が整っている。・布団があるのが良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	事業所としての課題を共有し、解決へ向けて計画・実行・振り返り・改善の流れを意識しながら、実効性のある取り組みを進めていく。 【意見等】・少し足りないと思われる。・十分とは言えない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	いただいた評価・ご意見については、全職員に共有し改善へつなげている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	業務前ミーティングを行い、意見交換の場としている。挙げた意見については、できるだけ迅速に業務に反映させている。 【意見等】・職員同士の仲が良い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	現在のところ、第三者評価を行っていない。虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会には、他法人より第三者委員を招聘し助言をいただいている。 【意見等】・わからない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	虐待防止・身体拘束適正化・BCP・感染対策などの研修を定期的に行っている。障害特性の理解や支援方法についての研修もさらに充実させていきたい。 【意見等】・ジョブメドレー研修動画を活用。・外部研修を受講した際は、事業所内で伝達講習を行っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ガイドラインの児童発達支援5領域について明示した活動予定を公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	6ヶ月ごとの職員間の支援会議、保護者面談を通して、変化するニーズや課題の把握に努め、計画に取り入れている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	日頃から、職員間で意見交換を行い、より適切な支援につながるよう努めている。短時間勤務の非常勤職員に対しても、漏れなく共有できるようシステムを見直していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	個別支援計画更新時期には共有を図っている。時期を問わず(複数回)全職員が確認する機会を持っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	保護者よりご提出いただいた発達検査等の結果を支援の参考資料として活用するとともに、日々の関わりの中で見られる行動や反応についても継続的に記録を行い、チーム内で共有している。 【意見等】わからない。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	4	支援に必要な項目を設定している。支援内容については「本人支援」に重点を置いたものとなっている。今後、よりお子様の状況やニーズに合致した内容となるよう、見直しを行っていく。 【意見等】・家族支援、移行支援に関しては、具体的な支援内容に落とし込めていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	常勤職員で意見を出し合い活動プログラムの立案を行っている。非常勤職員からの視点も積極的に取り入れ、多様なプログラムの提供へつなげている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	季節や行事に因んだ活動を取り入れている。お子様の発達段階や特性に合わせ、プログラムの内容を柔軟に見直していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個別活動では、お子様の特性や得意・不得意に応じたきめ細かな支援を行い、集団活動では社会性の発達を促すことに重点を置いた計画を立てている。いずれの場合も、状況に応じて柔軟に対応していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	業務開始前にミーティングを実施し、活動プログラムの進行方法や児童の状況等について職員間で共有している。各プログラムのねらいや目的が曖昧にならないよう、要点を明確にしながら伝達することを心がけている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	送迎業務もあり、当日分については常勤職員のみでの振り返りとなっている。翌日支援開始前までには全職員に共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	日々の記録は行っている。お子様の状況の記録にとどまらず、ねらい・仮説を立てて、支援の検証のための材料にしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	6ヶ月ごとに職員で意見交換をしながらモニタリングを行っている。主に個別面談の中で保護者様に聞き取りを行い、その時々課題に対応した計画へと見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	「自立支援と日常生活のため充実のための支援・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供」の4つの基本活動のうちの地域交流については、今後地域イベント等への参加へ向けて情報収集していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	日常的に選択の機会を設け、お子様の意向を確認するようにしている。絵カードなどの視覚支援を活用することで、お子様自身が理解し選択・意思表示しやすい工夫をしている。苦手なおやつについては、「こうかんカード」での交換が可能な仕組みを取り入れている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	主に児童発達支援管理責任者が出席している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	お子様の状況により必要があれば、連携を取っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校送迎時に簡単な情報共有は行っており、必要があれば直接電話で確認している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	必要に応じて、保護者様に了承を得たうえで情報共有している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	移行後の事業所より依頼があれば、情報提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	現時点では、スーパーバイズや助言や研修を受ける機会はない。必要があれば、サービス担当者会議の中で、相談支援専門員や他事業所に意見を聞いている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	地域のイベント等に参加することはあるが、他のこどもとの直接の交流機会はない。体制が整えば検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	現時点では、招集の機会がない。今後、意見や要望を伝える場として機能するとよい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	お子様の体調の変化、行動等についての気づきがあれば、送迎時（または電話にて）お伝えしている。保護者様からも家庭での状況を詳しくお伝えいただいている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	お子様への対応について、個別に考えや意見をお伝えすることはあるが、研修形式では行っていない。 【意見等】・研修はないのでは？

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	ご契約時にご説明させていただいている。不明点については随時ご質問いただき対応している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	保護者様には個別面談等を通じて意向を確認している。お子様自身の意思についても、職員とのやりとりや観察を通して汲み取っていきけるよう努めている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	保護者様には6ヶ月ごとの個別面談の中で、個別支援計画についてご説明し同意をいただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	主に電話等でご相談を受け、考えや意見をお伝えしている。他の専門機関等をご紹介するケースもある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	現在のところ保護者会は行っていない。先輩の卒業後の生活について話しを聞いてみたいとのご要望もあるため、今後検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情解決へ向けてのフローチャートを掲示している。苦情をいただいた際には、全職員へ周知し、迅速に解決を図っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月のおたより、HUGシステム、ブログ等を通じて、翌月の活動予定や日々の様子を発信している。中でもHUGシステムは、スマートフォン等で即時に確認可能であることから、迅速な連絡および情報提供の手段として、積極的に活用していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	「個人情報使用同意書」「写真撮影および掲載に関する同意書」に基づき、取り扱いには細心の注意を払っている。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	お子様の特性や発達段階に応じて、絵カードやサイン等を用いて視覚的にもわかりやすく伝えている。保護者様に向けては、HUGシステムに併せて、電話、お手紙等で、確実に情報伝達を行うよう心がけている。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	現在は、地域の皆様を招待する行事は開催していない。今後、イベントへの招待、地域ボランティアの活用なども視野に入れていく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症の各マニュアルを策定している。月1回の避難訓練のうち、年2回不審者対応訓練、年1回嘔吐処理訓練も組み入れている。マニュアルについては随時閲覧可能ではあるが、HUGシステムを通じて定期的に情報公開も検討している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCP(災害・感染)を策定し、会議を通じて必要な見直しを進めている。災害時を想定した訓練には、お子様も参加し課題解消に向けて取り組んでいる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	服薬、てんかん発作の有無と対応方法については事前に確認し、職員間でも共有している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	現在のところ医師の指示書はお預かりしていない。食物アレルギーのあるお子様については、保護者様からアレルギーや症状について聞き取りを行い、細心の注意を払っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	施設には飛び出し防止のため二重扉を設置し、送迎用車両には置き去り防止装置を導入している。外出時はピブスの着用やGPSの活用により、見失いの防止を図っている。今後も安全計画に基づき、必要な研修・訓練を実施していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3	安全計画及び事故発生時・緊急時対応マニュアルを策定し、適宜見直しを行っている。現在、ご家族への周知を図るため、HUGシステムを活用することを検討している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	ヒヤリハット事例集を作成し全職員で共有している。事案発生後できるだけ迅速に共有、対策を講じている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止のための研修を全職員に実施している。虐待防止委員会を設置し、虐待が疑われる事案がないか定期的に確認している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束適正化委員会を設置し、お子様の安全確保のため、切迫性・一時性・非代替性を満たした場面に限り行う場合がある旨、お伝えし了解をいただいている。個別支援計画に記載、当該お子様・保護者様には書面にてご報告することとしている。